



# 碧南ロータリークラブ週報

第2690回例会 平成26年6月4日(水)

- 会長 長田 豊治
- 幹事 岡本 明弘
- 会場監督(SAA) 角谷 信二

2013-2014 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)



- 会報委員 鈴木泰博・奥津順司・杉浦栄次

## ● 斉 唱

国歌「君が代」  
ロータリーソング「奉仕の理想」

## ● 四つのテスト唱和

## ● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

## ● 本日のビジター

米山記念奨学生 マルティネス リベラ リリアナ様



## 会 長 挨 拶

杉浦秀延さんが米国の EastPortlandRC に行かれ、バナー交換をされました。お疲れ様でした。

本日は久しぶりの米山奨学生をお迎えすることになりました。カウンセラーとしてお世話頂く植松敏樹先生にはよろしく願い致します。



長田豊治会長

ご案内のように米山記念奨学生制度は1952年東京RCが、平和を愛し、青少年に手をさしのべた、日本ロータリーの父である米山梅吉氏の遺徳を記念する事業として始めたものがその後全国組織となり、1967年には財団組織となりました。今では民間奨学生制度としては金額、奨学生数ともに日本で一番の組織となっております。毎年、多くの方にご寄付を頂き有難うございます。

我が碧南クラブでは、

1995年に名古屋大学大学院の崔益暢(チョイ イキチャン)さん(韓同)  
カウンセラー 井上達夫先生

2001年に名古屋大学大学院 王 培紅(オウ バイコウ)さん(中国)

カウンセラー 杉浦昇一さん

2005年に愛知教育大学大学院 蔡 於今(サイ ヨキン)さん(中国)

カウンセラー 長田昌昇さん

2006年に愛知教育大学大学院 徐 林杰(ジョ リンケツ)さん(中国)

カウンセラー 永坂隆一さん

と、お世話をしてまいりました。

本日5人目の マルティネス リベラ リリアナさんをお迎えいたしましたので、皆さまには次年度米山寄付へのご協力も含め温かいご支援を頂きますようよろしくお願い致します。

## 幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 例会変更は今週はございません。その他事項は幹事報告書の通りでございますので、よろしくお願い致します。
- ・ 愛知ロータリーEクラブが RI に正式に承認されました。Eクラブの例会は、毎週1回24時間どこからでも例会に参加できるクラブです。興味のある方は事務局までよろしくお願い致します。
- ・ ガバナー月信の6月号に、碧南ロータリークラブ55周年記念例会の記事が掲載してあります。一度インターネット上でご確認頂きますよう、よろしくお願い致します。
- ・ 本日例会終了後、本年度第12回理事会を開催致します。役員、理事の方はお集り頂きますよう、よろしくお願い致します。



岡本明弘幹事

## 委 員 会 報 告

### <出席奨励委員会>

総会員数 69 名 (内出席免除者 9 名の内出席者 7 名)出席者 56 名	
出席対象者 56/67 名	出席率 83.58%
欠席者 13 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 98.51%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

### <ニコボックス委員会>

- 長田 豊治君 碧南市消防団消防操法大会に来賓として招待されました。杉浦栄次消防団長はじめ関係の皆様のご苦勞に感謝申し上げます。
- 山中 寛三君 ガバナーより55年間会員表彰状頂きました。皆さんのお陰です。
- 植松 敏樹君 米山奨学生マルティネス リベラ リリアナさんを歓迎します。
- 黒田 昌司君 碧南高浜防犯協会連合会会長職、無事終えることができました。

- 小笠原良治君 日々試練の毎日、つかれてきました。ボチボチ進路を決めなくてはと考えています！ キリンのコラボ商品が開発されています。楽しいですよ！
- 石橋 嘉彦君 リリアナさんの来碧を歓迎致します。
- 木村 徳雄君 }  
角谷 信二君 } 長田会長、岡本幹事にお世話になりました。会長が山内恵介に見えた一夜  
杉浦 栄次君 } でした。  
藤関 孝典君 }
- 清澤 聡之君 先日、会長・幹事に大変お世話になりました。
- 竹中 誠君 先日、「碧南高浜防犯協会連合会」黒田昌司会長さんより感謝状を頂きました。
- 山中 寛紀君 昨夜シドニーから帰りました。6月1日夜、田中ガバナータ食会は250名を越える会員が参加し大変盛大に行なわれました。本大会会場は広すぎて訳が分からず、早々に退散。シドニー市内を思う存分歩き回り疲れ果てました。
- 杉浦 栄次君 6月1日（日）碧南市消防団操法大会を開催することができました。沢山の皆様に応援を頂き、誠にありがとうございました。8月9日の県大会には小型ポンプの部で出場いたします。よろしくお願ひします。  
本日、結婚記念日です。しかも銀婚式です。この先も2人元気で次の25年を向かえられたら、幸いなのでしょうか？
- 鈴木 泰博君 先日は、長田会長、岡本幹事をはじめ多くの人にお世話になり、ありがとうございました。
- 荻谷 賢治君 本日、卓話をさせていただきます。よろしくお願ひ致します。

### <親睦活動委員会>

#### 会員誕生日

1日 長田 和徳君      11日 鈴木 泰博君      29日 岡本 彰人君

#### 奥様誕生日

27日 岡本 彰人君の奥様      佳美様

#### 結婚記念日

4日 杉浦 栄次君・ちづる様 25年(銀婚)      7日 新美 真司君・琢美様      28年

#### 入会記念日

16日 林 俊行君

### 「漢方で解明する腹黒さ」 荻谷賢治君



昨年7月に入会させていただき、受付に座っていると、どこからか「腹黒い、腹黒い」と聞こえてきました。私はドキッとして、「私の腹黒さを見破る人がいるのか？」と、周りを見渡すと、イケメンのH社長がいらっしゃいました。今回親睦委員長からの依頼でパワーポイントを使っただけの資料を作り、別のお話をさせていただこうと準備をしましたが、4月の席替えで、H社長と同じテーブルになり、質問を受けました。「腹黒いのは漢方で治るのか？」と。私はすぐに答えられませんでした。この言葉が5月に入ってもずっと頭に引っかかっていたので、「社長が今回の発表のテーマを与えてくれたのだ」と感じ、急遽このテーマに変更いたしました。真剣にお話をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

まず「腹黒い」を辞書で調べると、「心に何か悪だくみを持っている。」「陰険で意地が悪い」などと書かれています。水戸黄門で出てくる、悪代官と越後屋が浮かんでくると思います。言葉の意味はこのようなイメージですが、今から漢方的に、腹黒さと病気の関連性を紐解いていきます。

まず東洋医学についてという事で、東洋医学には、インドのアーユルベータ、チベット医学、中国医学、そして日本の伝統医学である漢方医学があります。

東洋医学は、大宇宙、大自然の「氣」を重視した医学であります。人間は小宇宙と言われるように、大宇宙や大自然を構成している要素と人間の構成要素は同じと考えます。

大自然の構成要素は、漢方医学では、木、火、土、金、水の五つあります、これらは森林（木）、太陽（火）、地球（土）、鉱物（金）、海（水）を現し、人間の内蔵である五蔵の肝、心、脾、肺、腎につながります。病気とは、「氣」の病いと書くように、大自然の「氣」と人間の「氣」のバランスが崩れた状態であります。

また、こころの「氣」が乱れて内蔵や神経に影響をしている状態であります。人間は部品のように組み合わせてできていると見るのではなく、一つの生命体として捉え、この生命体の「氣」のバランスがどのように崩れているのかを判断して、その「氣」を漢方薬や氣功や食事などで修正をしていくことで、人間が生まれながらに持っている自然治癒力を高め、心と体と魂を共に元気にしていく、つまり病んでいる「氣」を「元」に戻していく医学が、日本伝統医学の漢方を含めた東洋医学なのです。

インドのアーユルベータは、約5千年の歴史があるインド地方の伝統医学です。Ayur（生命）とveda（智慧）で合わせて生命の智慧と書き、肉体・精神・魂の調和を取り自然治癒力を高める医術で病気の治療・予防、および健康増進を図ります。

チベット医学は、五大元素（空、風、火、水、地）のバランスをとる自然医学療法です。

中国医学は、約3千年前より編纂され2200年前にまとめられた医学書「黄帝内経素問」を基に理論的に書かれている自然医学です。

この3つの医学が、世界の4大伝統医学に入り、もう一つは、アラビアやイスラム圏の伝

統医学のユナニ医学です。

私たち日本の伝統医学である漢方医学は、朝鮮を經由して中国医学が5世紀頃に入り、貴族や上流社会の医術でしたが、鎌倉時代から一般大衆に浸透し、江戸中期に日本人にもっとも適した医学となりました。

江戸の名医後藤昆山は「一氣留帯説」を唱え、病の原因は「氣が滞ること」と言っています。二番目に食養生で氣を調え、自然治癒力を高めること、温泉で身体を温め、体内の氣のめぐりを良くすること。三番目に漢方治療と言っています。それでは、一番目は何かと言いますと、「運」と言っています。

これは人間に限らず生きているものが、老い、病氣になり、死んでいくのは自然なことで、自然な運命であるから、病氣になってもあまり深く考えるなということ。私が今生きているのも「運」のお陰と言えるのでしょ。

私たちの日本の漢方医学は、中国医学の治療とは大分異なってきましたが、ベースの考えは同じです。それは、先ほどでてきました、中国最古の医学書である「黄帝内経素問」に書かれています。

恬憺虚無 てんたんきよむならば  
真氣従之 しんきこれにしたがい  
精神内守 せいしんうちをまもり  
病安従来 やまいいづくんぞしたがいきたらん

「心が穏やかで執着がなく私利私欲を捨てれば病氣にならない」と書かれています。漢方の大家、相見三郎先生が書かれた「漢方の知恵」に漢方治療の原典とされている「傷寒論」の事が書かれています。その著者、張仲景先生はその序文の中で、「進んで人を愛することしないと病氣におかされる」と言っています。人を愛する事が自分の身を守る方法で、それが道理であって病氣というものは自分大事と自分のことだけを考えている状態と書かれています。

このあたりで、「腹黒い」という状態は、どうもあまり健康に良い状態ではないと読み取れます。

漢方医学は人の道を教える学問です。宇宙の成り立ちから自然界の仕組み、自然界と人との関係、自然界と人と五蔵との関係を知ることで、自然・宇宙の偉大さが分かります。人間は、文明を築いた有史以後、私利私欲である、金銭欲、独占欲、虚栄心などが増えてきました。この欲望に流された生き方が、病氣を誘発し寿命を縮めると考えられます。

私利私欲にとらわれると、競争意識が強くなり、人を羨んだり、人の悪口、陰口を言ったりするようになり、感情が高ぶってきます。感情の刺激が多いと自律神経を乱すこととなります。感情の刺激が自律神経を乱し、性欲・食欲を増したり、なくしたり、また低体温になったり、ほてったりします。

本来私たちの心は、赤ちゃんのように純粹で透明であります。この状態、つまり漢方医学が伝えている恬憺虚無の状態です。こころ穏やかで私利私欲がなく、みんな仲良く平和でい

きましようという教えです。この状態であるならば、信号の色を見間違えることはなく、慎重に交差点を通ることができます。

しかし、私たちの心には、どうしても色メガネがついてきます。心が曇っている、つまり腹黒い色メガネ状態であると真実をみる事ができなくなってきます。

腹黒い色メガネをかけて、車に乗って交差点に差し掛かった時には、信号が赤で停止しなければならないのに青に見えてしまい、そのまま直進するため接触し、事故を起こす。この事故を病氣と考えます。

事故つまり病氣になると、病院に運ばれ治療してもらう。退院して、また車を運転する。色メガネをつけているために、また事故（病氣）となる。

本来の医療は、なぜ事故（病氣）になったのかを教え、色メガネを一つ一つ取ってあげ、恬憍虚無の心に近づけさせてあげる場所であるということが、漢方医学から読み取れます。私利私欲という腹黒い思いが、自らの病氣というものだけではなく、戦争、飢餓、環境破壊などの原因になっていると思います。今、地球環境が破壊され、異常気象が多くなっているのも、自分中心の現れから起こっていると思います。各地で起きているさまざまな争い（水問題、鉱物問題、食糧問題など）や飢餓の問題なども私たちの「先進国が中心だ！」という思いから起きていると言っても過言ではないかと思えます。

奉仕の理念に基づいたロータリークラブは、世界的なネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進するという、まさしく漢方医学の伝えるところであり、この会で学ばせていただくことで、私の腹黒さは減っていくのではと確信しています。

## 次回例会案内

平成26年6月18日（水） 最終例会「役員挨拶」